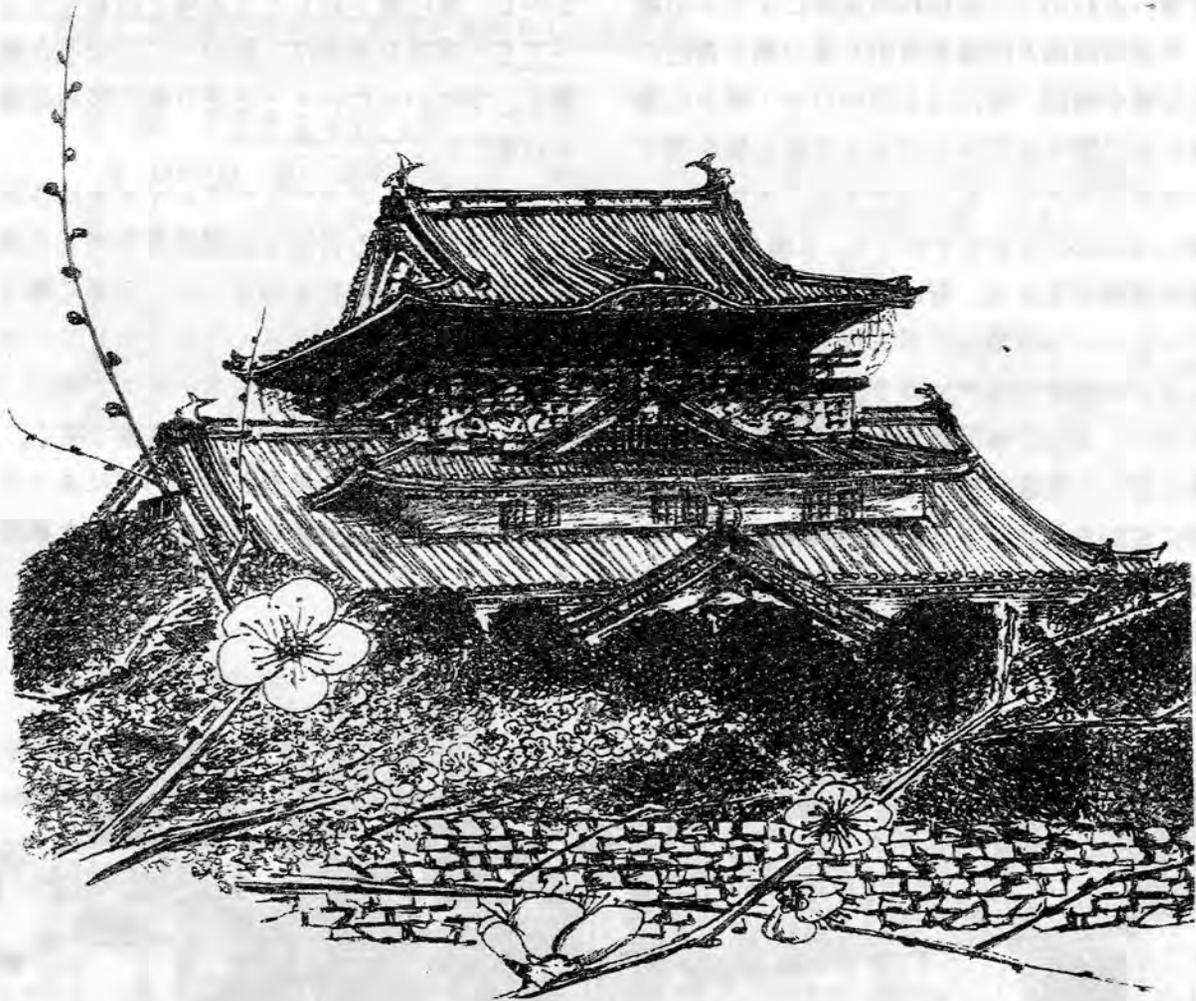




奈良・人と自然の会

＜わたしたちは大和の自然を愛します＞



- * 鳥図鑑から抜け出たような・・・2月例会・自然俳句
- * ならやま（レポート・自然観察）・癒しの散歩道
- * 「健康優良児」のアブラムシ・・・「講座」⑤
- * リレー随筆「お元気ですか」・・・「NZの旅・神の宿る額井岳」
- * 随想「別れ」
- * かわゆ〜い「ルリビタキ」！！
- * スタッフ募集「自然教室チーム」・「ちいきじょうほう」
- * 3・4月行事案内・・・「桃源郷へ」・「佐保路」・「初瀬街道〜」
- * 今月の表紙・ペン画に寄せて

1	2
3	4
	5
	6
	7
	8
	9
10	~ 12
	13

2月9日「山の辺の道」野鳥観察会

大興奮の一日でした

鳥図鑑から抜け出た様な光景

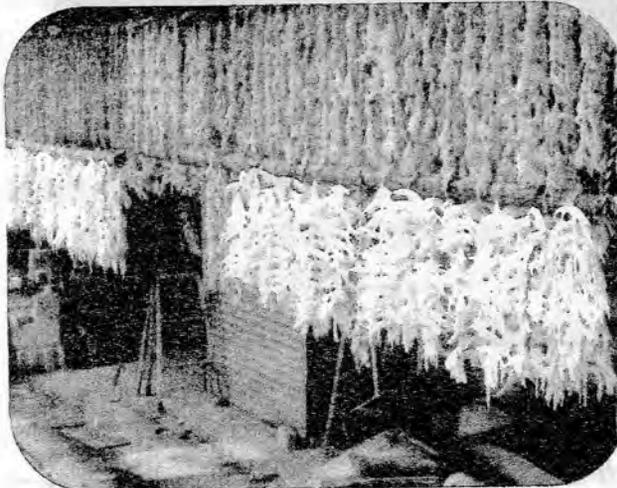
岸谷 和代

生憎の空模様。JR 柳本から始まった観察会は説明もそこそこに長岳寺五智堂に立ち寄り黒塚古墳へとむかう。冬枯れの大木にイカルが数羽。早速双眼鏡と図鑑を取出し黒い頭と黄色の頑丈な嘴を確認。堀には2羽のカモ・寒さに震え真ん丸に膨らんだキジバト・大きく胸を張り立ち止まるツグミ。あ！コゲラだ。木から木へ移動しみんなの目を引き付ける。目線の先には、鳥達の混群が見える。背の緑黄色と灰青色のグラデーションが綺麗なシジュウカラ。背と腹のオレンジが鮮やかなヤマガラ。なら山の常連エナガ・・・まるで鳥図鑑から抜け出てきた様な光景に皆んな興奮状態になるが強くなってきた雨脚にせかされオシドリの待つ崇神天皇陵へと雨対策も万全に急ぐ。たくさんのカモに混じって遠く薄暗い水面に2組のペアと雌鳥がレンズを通してみえる。神様は、なんて素敵な生き物

を造られたのだろうか・・・複雑で鮮やかな繁殖羽をもつ雄鳥に比べ雌鳥の慎ましやかなこと、しかし、世に言うおしどり夫婦とは異なりこのペアも今季限り来季は、別のペアになると聞き驚く。ではいったい・・・と思う間に彼らは視界から遠ざかっていった。

ランチタイムとコーヒーブレイクをはさみながら大空間広がる長閑な田園風景を楽しみ鳥を探して終点石上神社をめざした。天高く舞うトビ・電線いっぱいにならんだカワラヒワ・水辺で遊ぶセキレイ達・木から木へモズが飛び「チチン・チチン」とキセキレイが電線で啼く。

いつまでもこんな風景が変わらずにあってほしいと願いながら可愛い鳥達を堪能した観察会でした。



*小雨にもかかわらず、23名の参加がありました。皆さんはどれだけの鳥がみられましたか？

カイツブリ・カワウ・アオサギ・オシドリ・マガモ・カルガモ・コガモ・オナガガモ・トビ
オオタカ・バン・ケリ・キジバト・コゲラ・キセキレイ・ハクセキレイ・セグロセキレイ
ビンズイ・ヒヨドリ・モズ・ジョウビタキ・シロハラ・ツグミ・エナガ・ヤマガラ・メジロ
シジュウカラ・ホオジロ・カシラダカ・アオジ・アトリ・カワラヒワ・イカル・シメ・スズメ
ムクドリ・ハシボソガラス・ハシブトガラス

以上 38 種でした。 小田

自然俳句栞

2月9日 例会。山の辺の道 野鳥観察会。

今年初めて雨が降る。



みささぎの姫と促す鴛鴦の替

かづえ

崇神陵の濠。おしどりは仲の良さで知られる。

神官の木履を思わすシルエット。雌を氣遣う姿に春が近い。

一木に群れ囀りの朝餉かな

秀夫

「囀り」は春の季語。オナガ・シメ・シジウガラ・コゲラ・
ピンズイとそれぞれの群れが集まる光景に遭遇する。鳥たちよ、グッド
モーニング。

帝陵の呑き水より鴨の陣

秀夫

生憎の天候。モノクロの世界が展がる。冬の名残りの一景。

鄙のみら急か急かと押す芽木の雨

秀夫

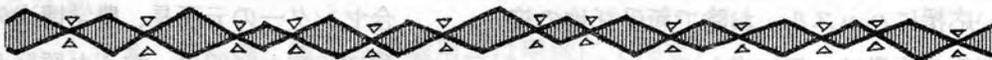
山の辺に春の雨。草木の芽吹きを促す喜雨。人はみな足早となる。

これもまた自然か。

落ちていた軍手が掴む春の霜

秀夫

某日の里山。一面の霜畳。忘れられた手袋に耕人の魂が宿る。



ならやまプロジェクト・レポート 23年2月

1月27日(木) 晴 参加者23名

- ・臨時山の日 玉切作業 コナラの間伐材を椎茸のホダ木用に1mの長さに切断する。椎茸栽培も4年目、慣れた手順で計画の230本が整然と並べられて2月末の植菌を待つ

1月29日(土) 晴 参加者38名

- ・実習生受入14名 12月に続いて実習希望者が多く、担当の窓口は嬉しい悲鳴をあげる。実習生は農園、里山の2班に分かれて実習に汗を流す。午後は自然観察、意見交換と充実した一日を過ごした。
- ・E1地区の里山林の基礎整備が完了!!
明るく見通しのいいコナラ林、木漏れ日といった林床、ゆったりと広い観察路、通り抜ける風に「気持ちいいなあ」とつい声が出る。「セラピーの路」とでも名付けたいような素敵な景観に仕上がった。(写真 下記)



2月3日(木) 晴 参加者39名

- ・3月下旬並みの陽気に多数の参加者で賑わう。玉葱の追肥など予定された農園作業はたちまち完了、力の余った女性パワーは、刈り取った笹の処理に。環境Grの皆さんは思いがけない応援にハッスル。お陰で新受託地の笹藪の刈取り作業は一気に進む。
- ・新年度に取組を予定している拡大ならやま地区(前月号記事)の下見と観察ルート探索

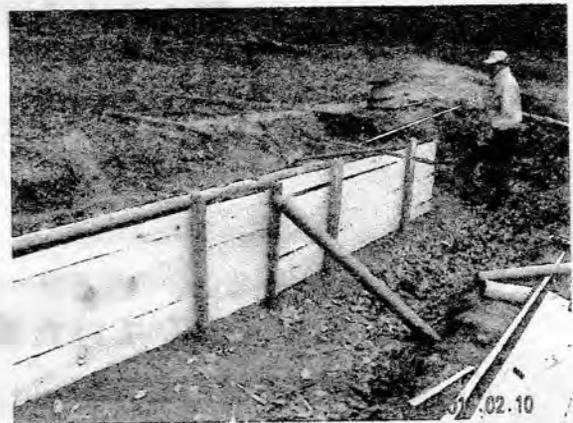
を実施。このエリアは、オオタカの営巣やササユリも見られており、貴重な生態系を保護のためのパトロールと観察を中心とした管理をしていく方針である。

2月10日(木) 晴 参加者24名

- ・臨時山の日 E2地区の山地の整備。ここは尾根沿いの西斜面で、風当たりと乾燥気味の問題場所である、嘗てのアカマツが枯死し、後継樹種が育っていない。下草を刈り、林床をよく観察し、今後の保全の方法を検討する。
- ・頼もしい新入会員 永淵元弘さんの参加あり。山作業の経験も十分、ご活躍を期待したい。

2月12日(土) 晴後雪 参加者21名

- ・厳しい寒気の中だが、里山活動にはベストシーズン。マンパワーもさらに強化されてE2、3地区の整備がぐんぐん進められる。
- ・b地区田圃跡の溝に杭を打ち、板で土止めをする。壁面の土質は砂利、砂、シルトで崩れやすく、塩本さんの指導で苦心の作業が続く。



2月17日(木) 晴後雪 参加者39名

- ・午後「有機農法とJAS規格」の講習会が農園Grの主催で開催された。講師は県農業総合センターの元所長、農学博士の小島博文氏。懇切丁寧な説明に、熱心な質疑が飛び交って35名の出席者は大いに啓発された。

(古川 祐司 記)

ならやま里山林花だより

守口 京子

2月17日(木)3日前に雪が降り、松や竹の折れる被害がありました。今日は一転春の日差しです。春を待ちかねた草花が咲き始めました。オオイヌノフグリの鮮やかな青とハコベの白が畑の周辺のあちこちで見られ、畑仕事もはかどる気分です。サイクリングロードから見上げるとハンノキの枝先で雄花が風に揺れています。またならやまのいつもの春が近づいて来ました。

花…オオイヌノフグリ、ハコベ、タネツケバナ、ホトケノザ、ハンノキ
 蕾ふくらむ…ウメ、クロモジ、ツバキ、ジンチョウゲ、アセビ、ヒサカキ



このところの乾燥で苦しかったならやまの苔やシダは雪解け水をたっぷり吸いこんで元気を取り戻しました。シシガシラは葉の切れ込みが独特の美しいシダです。孢子葉はもう役目を終えてこげ茶色で固くなっていました。

ならやま鳥だより

小田 久美子

2月14日(月)。鳥の気配のない曇りの中3人で廻りました。午後は記録的な雪になり鳥たちはどうなったか気になりました。

<癒しの散歩道>



雪原の彼方の向こうの春待ち草をさがして

谷川萬太郎

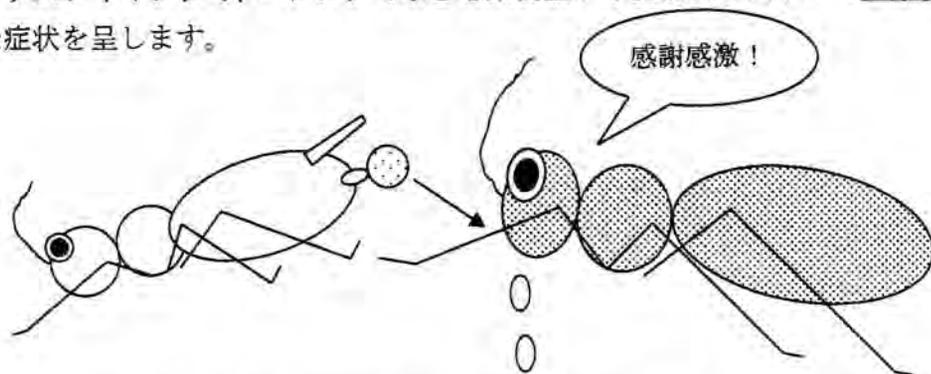
時節に翻弄されて足踏みする小さな春に 苛立つ梅の花は憂いを嘆き深い溜息をつく
 ひっそりと里山に降り積もる雪の精霊よ お前達は行く先の見えぬはぐれ天使なのか
 歌を忘れた鶯のように薄れゆく春の初夢 寂しさに吐く息の白さも雪煙に吸い込まれ
 微かな寝息さえもかき消す忍び寄る静寂 見渡せば広がる雪原の白い台地に酔いしれ
 小さな冬をあど幾つ越えればいいのだろ 季節の旅路にさ迷える春待ち草をさがして

やさしい昆虫講座 (第5話)

木村 裕

今回はアブラムシの続編です。

アブラムシも生き物ですので、植物の汁を吸えばいらなくなった物を排出する必要があります。そこで成虫も幼虫も尾端からねばねばした液体を排出します。悪臭があるかどうかは知りませんが、アリさんの言によると糖分がいっぱい栄養満点とのこと。それゆえいつもアリが集まってアブラムシのお尻から出した液体をすぐに拾い集めて巣に運んでいます。その付近にアリが住んでいないとかいても怠け者ばかりのアリですと、需要と供給のバランスが狂って排泄物が付近に撒き散らされます。それゆえアブラムシが多発している葉の一段したの葉にはぴかぴか光る油滴が堆積します。そこへアブラムシの脱皮殻や埃が付着するので葉は汚くなります。そればかりでなく、この排泄物を栄養源とするすす病菌が活動し始めるのでその部分は黒く汚れます。これを一般にすす病と言っていますが、アブラムシさえ取り除けばこの病気は治まります。また、カイガラムシやキジラミ、コナジラミなども栄養豊かな排泄物を出すのですす病が発生し、同じような症状を呈します。



おおいに繁栄している大所帯のアブラムシ一家でも恐ろしいものはあります。それはテントウムシの親子です。手当たり次第に食らいつくので、あっという間に仲間達は減り、一族郎党全滅憂き目を見ます。また、ヒラタアブ (ハエの仲間) の幼虫も強敵です。白いウジムシがアブラムシの集団内に入り込みつぎつぎに体液を吸い取ってゆきます。テントウムシやヒラタアブほど強力ではありませんが、アブラバチと言う小さなハチも嫌な虫です。成虫がアブラムシの体内に卵を産みこむので、ふ化した幼虫がアブラムシの体内を食い荒らして最後にはアブラムシに止めを刺します。

アブラムシにはなんでも食べる健康優良児もいれば、ひとつの植物しか食べない極端な偏食児もいます。どちらかと言えば偏食児が多いです。皆さんに顔馴染を少し紹介してみましょう。

春先にカラスノエンドウにいっぱい並んでいる緑色のきれいな虫は「ソラマメヒゲナガアブラムシ」で、ソラマメの茎にもぎっしりとつきますが、他の植物には見向きもしません。この虫と同居している黒色の虫は「マメアブラムシ」で、ソラマメ、エンドウ、インゲン、樹木のニセアカシアなどマメ科植物につきます。

健康優良児の代表は「ワタアブラムシ」で、体色は黄色が多いですが、緑色、黒色、灰色などバラエティに富んでいます。キュウリ、メロンが大好きですが、スイカ、カボチャ、ナス、サトイモ、オクラ、ジャガイモ、樹木のムクゲ、フヨウなどいろいろな植物につきます。もうひとつの健康優良児は「モモアカアブラムシ」で、体色は黄緑色か赤褐色で、キャベツ、ダイコン、ハクサイ、トマト、ナス、レタスなどにつきます。



ルー随筆 お元気ですか！

ニュージーランドの旅

山田洋子

念願だったNZに行って来ました。添乗員なしの夫と2人だけのツアー。オークランドでの乗り継ぎで入国検査の厳しさにドキドキ。クイーンズタウンに着いた時はクタクタでしたが、次の日からは快調に「ミルフォード1日ハイキング」「ミルフォードクルーズ」に参加。2日共雨、雨の時だけに現れる滝が白い血管の様で壮観でした。「ルートバン1日ハイキング」は雨の後で、シダや苔、ブナの森、その美しさに目を見はり、まるでジェラシックパークの世界でした。マウントクックでの「フッカ・バレー」は午前中は雨風、雷の揃い踏み、それも午後には風だけとなり、やっと目的地に着いた時には、マウントクックの氷河が雲ひとつなく現れ、大喜びでした。夜には星空観察、くっきり見える天の川、初めて見る南十字星、息をのむ美しさに、夫も驚き喜んでいたので、私には何よりでした。緊張や失敗も色々ありましたが、それもまた楽し、旅の恥はかきすてて、と言うところでしょうか、NZの自然を満喫した11日間でした。



神の宿る額井岳

和田啓志

ノアの箱舟はアララト山に漂着し、モーゼはシナイ山で十戒を授かり、イエスは誘惑の山で悪魔を退け、垂訓の山で山上の説教を行い、変貌の山・ヘルモン山では受難と復活を暗示されました。奈良・榛原には“大和富士”と言われている額井岳があり、その頂上には神が宿る祠があって、古代からの雨乞いの神事が行われ、また麓にある、十八（イソハ）神社の祭神は「カムヤマトイワレビコノミコト」（神武天皇？）とか。このように、山は誠に神聖な場所で、特に榛原近辺は、古代の伝説が語られているところがあちこちに見られ、歩いていても楽しいところで、その額井岳へ登ってきました。

先ず十八神社でハイキングの無事を願ってお参り、振り返ると榛原の町と周りの山々がすばらしい眺め。山道に沢蟹が一匹、何でこんな山の中に？尾根筋は疎林かブッシュ、道端にコウヤボウキが一輪、この季節は紅葉が盛りで落ち葉も始まり、周りの観察や景色を觀賞しながら山頂征服。

山頂には祠が祀られやや広く、西には目の前に貝ヶ平山、南には宇陀の山並み、北には都祁の山々、東にはこれから向かう戒場山などが手に取るように見渡せ、さすが大和の富士を実感。

下りの山麓にある戒長寺は聖徳太子建立の古刹、重文の梵鐘、お葉付きイチョウやホオノキの巨木などがあり、由緒ある山寺。裾野の里山にある“田子の浦ゆ打ち出て見れば真白にぞ 不尽の高嶺に雪は降りける”の山部赤人の眠る塚を巡って、3時前にはバス停へ。



藤：アッ！！ちょっと待ってチェーンソーさん。
チェーン： なんだい。こっちは忙しいんだ
早くしとくれ。

藤：私はこの里山でも大きい事では仲間から
は一目置かれているのよ。笹藪がきれいに
刈られてやっと人様に美
しい花を見てもらえると
喜んでいたのに。そりゃ
あ周りの樹木さんに絡ん
では迷惑かけているけど

チェーン：気持ちは良くわかるが俺にはどう
しょうもないよ。ご主人様の指かげんで俺
は殺人鬼に変身だ。これまで何百本とやっ
てしまったか。

藤：悲しいわね。

チェーン：俺だっていずれ老朽化したらポイと
捨てられ錆びてハイそれまでよ。寂しいもん
だよ。

藤：鳥さんの話を聞いていると、有名な藤の名
所があちこちにあるらしいわ。でもこんな自

然の中でのやさしい花やたく
ましい右巻きの姿も見てほし
いわ。

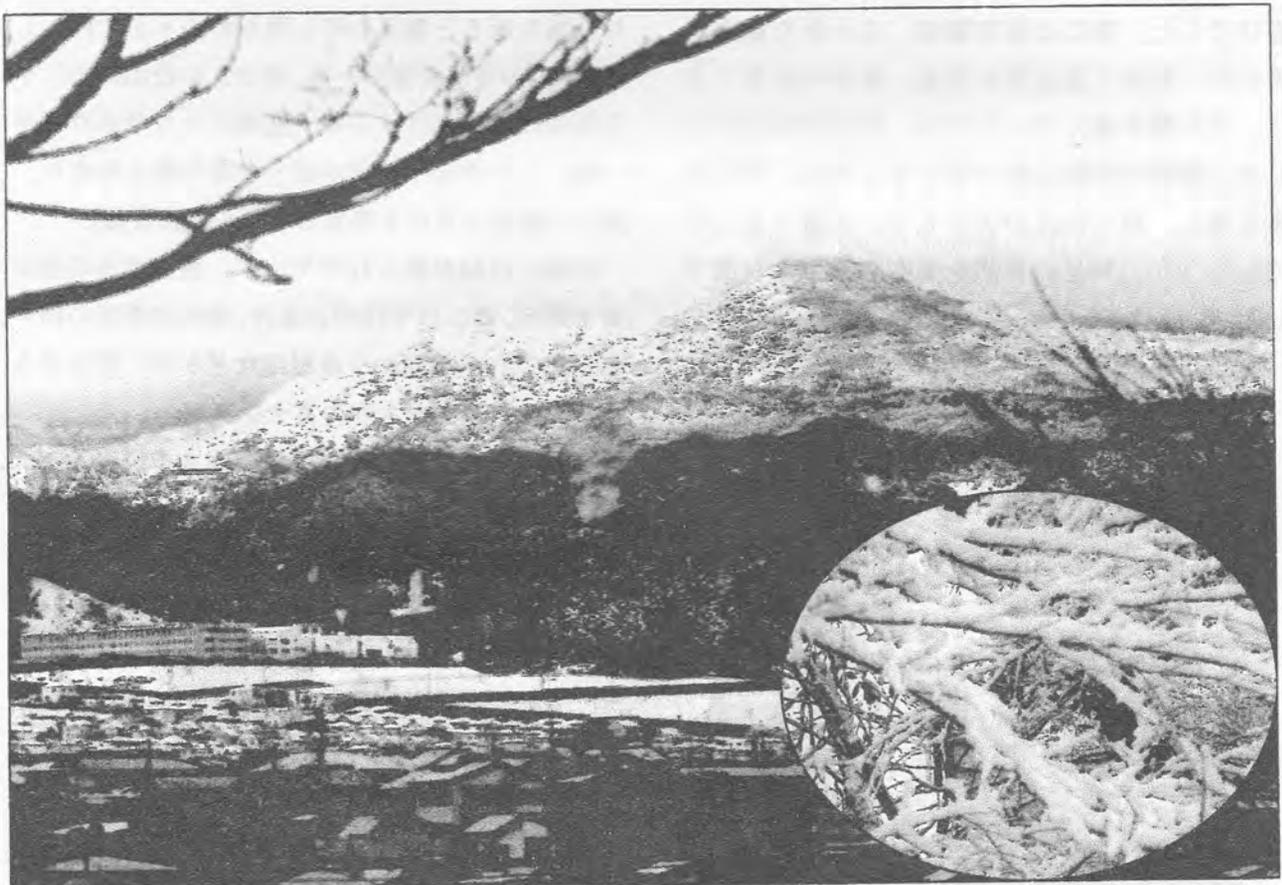
別れ



竹本 雅

チェーン：俺はご主人とよく行動を一緒にする
から彼等の計画は分かっているつもりだよ。き
っと藤の見事な姿を誇れる様な場所も考え
てくれるよ。

藤：それを聞いて少し安心したわ。さようなら。



雪の信貴山・樹氷（2月下旬）

かわゆ〜い!!! 「ルリビタキ」

小田 久美子

今年は、ならやまでもルリビタキの目撃が多いようですね。オオルリ・コルリと共に瑠璃三鳥と云われ美しい鳥ですが、より可愛いスズメ大の鳥です。他の二種のように直ぐに瑠璃色にはなれないで、一人前のイケメンになるのに2〜3年かかります。一見メスのように見える固体をよ〜く見て下さい。青い羽が見え隠れしています。バカッターラシ・アオバカなどと呼ばれ、警戒心が無く人おじしないので、里山でも低い山を散策していても比較的容易に見られる、とてもとても(くどい?)愛らしい鳥です。



梅満開 (三室山・2月下旬)



『自然教室チーム』 スタッフ募集!!!

自然教室チーム

担当：倉田

4月から「小学校の校庭の自然観察会」等を担当する『自然教室チーム』が発足します。子供たちと一緒に「自然に親しむ」、「自然遊びをする」、「自然工作をする」という楽しい活動を目指しています。概要は次のとおりです。奮ってご参加ください。

1. 活動の概要

- ① 小学校の放課後教室などで校庭の自然観察会を担当する。
- ② 必要があれば公園等での自然観察会を実施する。



2. スタッフの研修

- ① スタッフ研修会や自然観察会を開催する。
- ② 初めての方には実際の観察会でリハーサル等の機会も設ける。

3. 募集人員など

- ① 人数には特に制限はありません。
- ② ただ、チーム内の連絡は原則として eメールで行いますので、パソコンの利用可能な方をお願いします。

4. 申込み

倉田 宛に メールでお願いします。メールアドレスは以下のとおりです。

akira-kurata@msj.biglobe.ne.jp (j=ジェイが2ヶ所あります)

* ご照会は TEL : 0742-62-8460 にお願いします。



ちいきじょうほう

★(樫原) 2日高取川のいつものメンバーのキセキレイ・セグロセキレイ・モズみ・ツグミ 上空でカワウ。同じ日御所の田んぼではケリ・アオサギ出会いの多い日。

10日近くの公園でコゲラ4羽 寄り合いでもあったのか・・・はたまた家族か。

15日 散歩中アキニレにマヒワが50羽ほど。なんかの実のように枝に止まって・・・そのうちパラパラっという感じで下に下りてきて盛んに啄ばんでいた。なんかおいしいものがあったのかな?マヒワはなんともかわいらしい鳥さん。

15日 夕方久し振りにシロハラが庭に。エサになるものはおいてないけどいいもの見つけたらしくなんか口にくわえてうれしそう。 (斎藤) 飛び込むカワセミ

★(斑鳩) 5日大和川三郷町明治橋下にトラツグミ現れる。丁度子供たちと観察中。みんな大喜びでした。20日三室山でも。

17日ヒバリが囀っていました。

21日ウグイスの初鳴きです。大和川の河原(河合町)毎年、その場所で聞きます。 (勝田)



行事案内

※原則：前日午後7時前のNHK天気予報で、降水確率(午前)60%以上の場合は中止

※当会の行事における傷害事故等については個人負担とし、当会は賠償等一切の責任は負いません

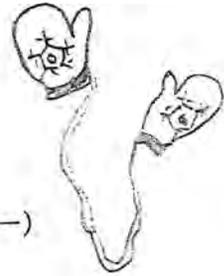
『ならやま里山林プロジェクト3月・4月の予定』

このプロジェクトは三井物産環境基金の助成を受けています

場所 奈良市奈良阪町・佐紀町の県有林 (JR平城山駅下車徒歩10分)
—「ならやま会館」前の道路(ならやま大通り)の南側に広がる林地—

日時

3月 3日 (木)	活動日
3月 5日 (土)	公開イベント「シイタケを植えよう」
3月10日 (木)	臨時山の日
3月17日 (木)	活動日
3月24日 (木)	活動日 (新入会員歓迎会 ノー・マイカー)
3月31日 (木)	雨天予備日
4月 7日 (木)	活動日
4月10日 (日)	菜の花祭り (ならコープ協働 菜の花プロジェクト)
4月14日 (木)	活動日
4月21日 (木)	活動日
4月28日 (木)	活動日
4月30日 (木)	雨天予備日



集合 現地ベースキャンプ地 9時 終了予定 3時
交通 ①近鉄奈良駅 バス13乗場 8:23発 高の原行 (平日・土曜)
②近鉄高の原駅 バス1番乗場 8:32発 JR奈良行 (平日)
8:30発 JR奈良行 (土曜)
①、②とも佐保台西口、または平城大橋で下車 徒歩約7分

携行品など

・弁当、飲み物、軍手 (作業用具は現地にて用意)

*環境保護のため、コップ・箸・椀などは各自でご持参下さい。

- 活動内容：・里山整備、環境整備、花木植栽等の景観形成、植生調査、椎茸作り
 ・復元した田畑での「旬の野菜・健康野菜の有機栽培」、堆肥作り、土作り
 ・「市街地にある里山」を体験する各種イベント
 ・広域里山パトロール（保全、ナラ枯れ点検、生物調査など）

* 3月24日 新入会員歓迎会には、少々のアルコールも出ますので、マイカーでの参加は禁止といたします。皆様のご協力をお願いします。

連絡先： 担当幹事 古川祐司 、 鈴木

☆ならやま・バードウォッチング

★日 時：3月14日（月） 9:00 集合

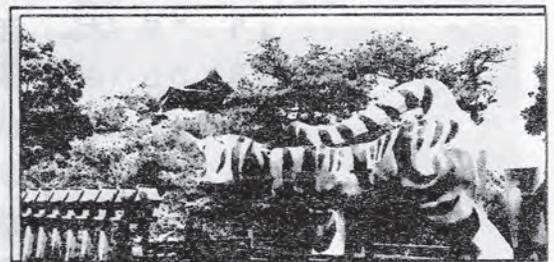
★集合場所：ならやま駐車場

★小雨決行。判断の難しい時は担当者に問い合わせてください。

★担当者：小田（ ）・菊川

3月例会 信貴山から桃源郷へ

春を告げる草花やモクレン・花桃などの花木が私たちを大歓迎してくれることでしょう。奮ってご参加ください。



1. 実施日 平成23年3月23日（水）

2. 行程

近鉄・信貴山下駅→（バス）→バス停・信貴山→朝護孫子寺の参詣→近畿自然歩道→奥の院→桃源郷→近鉄・平群駅で15時頃解散予定

3. 集合時間と場所

9時10分 近鉄・信貴山下駅集合

信貴山下9：28発の三室園東口行きバスに乗車します。遅れないように！（近鉄生駒線の時刻表）…この電車か、これより前の電車にお乗りください。

生駒発 →→ 信貴山下着 王寺発 →→ 信貴山下着

8：44 →→ 9：07 9：06 →→ 9：08

4. 持参するもの

昼食、飲み物、双眼鏡、ルーペ、防寒具、雨具など

担当：倉田 、 平岡 、 藤田



新入会員歓迎BBパーティー開催

今年も春の「ならやまフィールド」で、バーベキューを囲みながら、新入会員の歓迎会を実施いたします。

我われの活動は、今年10周年を迎え、益々広がっています。フレッシュな感覚の新しい仲間を、皆で歓迎いたしましょう。

数多くの会員の方々のご参加をお待ちしています。

・日 時 : 3月24日(木)

9:00~11:30 通常活動、11:30~12:00 新人ガイダンス、12:00~懇親P

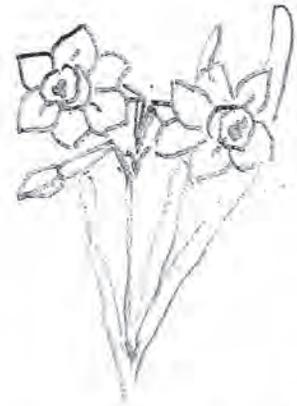
・新 人 : 昨年4月~今年3月新入会者(含む今年自然大学修了者 7名)

・メニュー: バーベキュー、トン汁など(おにぎり各自持参)

・会 費 : 500円(会員のみ)

※ノマイカーデーにご協力ください!!

・連絡先: 藤田秀憲
寺田 孝



<4月の予定>

4月例会 「佐保路の深堀り歴史探訪」

佐保路の歴史を「じっくり」と探求。旧家秘蔵の古地図や隠れた史実、また地域の人達との触れ合い等も大切にしつつ、寺社だけでなくいろいろと触れていただきます。

1. 実施日 : 4月19日(火)
2. 集合時間・場所: 10時 近鉄奈良駅前広場・行基菩薩像前
3. 担 当 : 古川)・鈴木

*詳細は会報第111号(4月号)でお知らせします。

<4月オプション行事> 東海自然歩道・自然観察会

～新緑の初瀬・伊勢街道を行く(大神神社から長谷寺へ)～

1. 実施日 : 4月27日(水)
2. 集合時間・場所: 10時10分、JR三輪駅集合
3. 行 程 : JR三輪駅→大神神社→平等寺→金谷の石仏→海石榴市→玉列神社→白山神社→出雲・十二柱神社→長谷寺→近鉄長谷寺駅(15時頃解散予定)
4. 担 当 : 森()・藤田()

*詳細は会報第111号(4月号)でお知らせします。

平成23年2月度幹事会報告

日時 平成23年2月8日(火) 18:00~20:30 司会：勝田、記録：西谷

場所 中部公民館

出席者 幹事17名、顧問1名、計18名

- (1) 現在会員数130名
- (2) 1/22 新春講演会参加者45名、ナラ枯れ観察(午後)23名
- (3) 「ならやまP」1月参加者164名、内実習生14名
- (4) 三井物産環境基金交流会参加(1/27~28)ポスター展示、成果と体験交流
- (5) 進路ガイダンス(1/23) 当会入会申し込み記名23名
- (6) 助成金「瀬戸内オリーブ基金」について協議し、申請を承諾する。
- (7) 会報誌のタイトル変更に伴う新デザインを3月に決定。4月号より使用。
- (8) 定期総会 5/14(土) 事前に「事業報告」、「会計報告」を会員に送付する。
- (9)
 - ・ 農園勉強会「有機農法とJAS規格」2/17(木) 13:00~佐保台ふれあい会館
 - ・ パソコン学習会 3/2(水) 13:00~ 於：朱雀高校 現在申し込み14名
 - ・ 公開椎茸イベント 3/5(土) 申し込み受付中、学校へもアプローチ。
 - ・ 新人歓迎会 3/24(木) ならやまベースキャンプ

表紙のペン画によせて

境 寛

大阪城二の丸東部分にある約1.7万平方mに約1270本の梅が植えられている。梅の種類は早咲きから遅咲きまで多くの品種が揃っているので、2月から3月の間長く楽しむことができます。なお、この梅林は、大阪府立北野高校の卒業生(六稜同窓会)が開校100周年事業として、22品種、880本を大阪市に寄付した事で、昭和49年3月に開園したそうです。

編集後記：*花粉が飛散し始めています。花粉の飛ぶ量には1日2回のピークがあるそうです。1回目は昼頃、気温の上昇と共に花から飛び出してきます。2回目は夕方気温の低下と共に日中舞い上がった花粉が落ちてくるのです。お出かけにはご注意ください！！
*会報発送作業・編集会議日：4月号の作業は3月28日(月)午前9時から「西奈良ボランティアセンター」で行います。何かとお忙しいでしょうが、ご協力お願いいたします。

編集担当：勝田 均

奈良・人と自然の会事務所

会長 阿部 和生